

原著

## 自身の周産期動画視聴による産褥1か月の親への影響

戸津有美子\* Yumiko Totsu      渡邊 香\* Kaori Watanabe

\*東京医療保健大学 Tokyo Healthcare University

**目的：**妊娠中から分娩、産褥入院期間中までに親や家族が撮影した画像を用いた動画を産褥1か月において視聴することが親に与える影響を検討する

**方法：**動画サービス「ベイベーストーリー」を利用した親が2019年度、2020年度に記載した感想のうち研究への承諾が確認できている300件を分析対象として、質的帰納的に分析を行った。

**結果：**動画サービスを活用している産科病院および産科診療所15施設より得られた感想300人分の委託を受けた。動画視聴による影響について54コード、14サブカテゴリ、6カテゴリ【子どもと共有できる将来に期待する】、【家族の絆を形成する】、【子どもの成長を楽しむ】、【感謝の想いを持つ】、【過去を想起し子どもへの気持ちを確認する】、【気持ちを新たにすする】が抽出された。

**結論：**産褥1か月に妊娠期～産褥入院期間中の画像から作成された動画を視聴することは親に肯定的な影響を与えることが示唆された。

---

キーワード：動画、画像、親、視聴

### I. 背景

個人が写真を撮影する際に、被写体となりやすいものは家族もしくは子どもや自身の生活に関連したものが多く、写真やアルバムといった画像を残す作業は、個人の嗜好や娯楽活動以外にも子育てにおいて用いられている。

1950年代後半より一般用カラフィルムが販売されてから、写真を撮影する機器の進歩と低価格化は進み1986年にはデジタルカメラが市販されカメラで写真を撮影することは一般的となった。現代ではスマートフォンなどのモバイル端末が普及し、写真や

動画をデジタルデータとして保存できるようになった。我が国は個人のスマートフォンを含むモバイル端末の保有状況は2023年に86%に達し<sup>1)</sup>、撮影や保存という行為がより容易になっている。

古来より我が国では、子どもの成長過程において子の健やかな成長や、今後の生活に困らないよう願う儀式またはまつり等の行事が行われ、カメラの普及に伴い行事や成長の節目毎に記念写真を残している。現代では生殖年齢にある20～49歳までの95%以上の女性がスマートフォン等のモバイル端末を持ち<sup>1)</sup>、簡単に写真や動画などの画像が撮影できる環境にある。モバイルマーケ

ティングデータ研究所が2018年に行った調査によると、20代～40代女性の90%以上が撮影頻度の高いデバイスはスマートフォンのカメラであり、よく撮影するシーンは友人・家族との写真や動画であると回答している<sup>2)</sup>。周産期においてもマタニティフォトや、産褥期にニューボーンフォト等を撮影するカップルも増加し、企業がスマートフォン利用者へ向けたプリント需要を創出し周産期に撮影された画像が商業化の対象にもなっている。

このように妊娠期から産褥期にかけて写真や動画を撮影する機会は増えている。画像が親に与える影響について報告している研究は少ないが、肯定的な影響を示唆している。妊娠期においては、双胎妊娠中の女性が胎児の4次元超音波画像を持ち帰り夫や家族と一緒に画像を見たことによって、ほとんどの妊婦が胎児の存在を身近に感じることができ<sup>3)</sup>、胎児に対し肯定的な気持ちを育む可能性がある<sup>4)</sup>ことを報告している。出生前画像診断が親の出生前の愛着に与える影響についてシステマティックレビューにおいては、出生前画像診断は出生前の愛着を高めることができると報告している<sup>5)</sup>。また、胎児の画像を見た妊婦の思いの内容分析からは「母性意識の発達」、「双胎児への愛着形成」が抽出され<sup>6)</sup>、愛着形成や母性意識の発達に良い影響を与える可能性が示唆されている。妊婦がマタニティフォトを撮ることの意義について調査した研究では、写真を撮影し共有することが【妊婦として心地よくいられる場】となり、その場を通して【妊婦である自分自身と向き合う】、【妊娠への満足を出産へ望む力とする】等6つのカテゴリを抽出し、写真を撮る、写真を共有

することで妊婦としての自己像を形成する一助になると報告している<sup>7)</sup>。1歳～27歳の子をもつ親を対象に写真を撮りアルバムを作成することの育児への影響を調査した研究では、子育てに対し肯定的感情をもつ家庭ほど多くのアルバムを制作しており、写真を撮影しアルバムを作成することが子育て・家庭環境にとって良い影響を与える可能性を示唆している<sup>8)</sup>。

子どもへの愛着と母親役割達成感を縦断的に調査した既存の研究では、産褥1か月の母親から子どもへの愛着得点並びに母親役割達成感得点が3～4か月、9～10か月と比較し低いことが報告されている<sup>9)</sup>。さらに、愛着得点と母親役割達成感得点は産後1か月～10か月の時期において関連していることも報告されており<sup>9)</sup>、産褥1か月時点での子への愛着や親役割への自信はその後の育児にも影響していくことが示唆されている。しかし、これまでに妊娠期から産褥期の周産期において自身が選択した画像を使用した動画を産褥1か月に視聴することによる影響については調査した報告がない。

本研究は、妊娠中から分娩、産褥入院期間中までに親および家族が撮影した画像を用いた既存の動画サービスを活用し、産褥1か月に動画を視聴することが親に与える影響を検討する。これにより周産期の画像を活用することで肯定的な影響があれば今後の支援の基礎的資料になると考える。

## II. 研究方法

本研究では、親自身が選択した妊娠期から産褥期入院期間中（分娩後は新生児の画像を含む）までの画像を編集して動画とするサービスを利用し、産褥1か月に動画を

視聴することが親に与える影響を検討した。動画は株式会社コミットコーポレーション（以下、㊟コミットコーポレーション）が作成・提供している既存のサービスである。㊟コミットコーポレーションの委託を受けて、研究者が分析・検討を行った。なお、研究者は動画の編集・作製に一切携わっていない。

#### 1. 調査期間

2021年7月9日～2023年3月末日

#### 2. 対象

分析対象は、㊟コミットコーポレーションの動画サービス「ベイビーストーリー」を利用した親が、「ベイビーストーリー」視聴後に任意で記載した感想である。本研究では産科病院および産科診療所15施設において分娩し動画サービス「ベイビーストーリー」を利用した親が2019年度、2020年度に記載した感想約2400件のうち研究への承諾が確認できている300件を分析対象データとして委託を受けた。

##### 1) 「ベイビーストーリー」について

「ベイビーストーリー」とは親および家族が妊娠期から産褥入院期間中に撮影した写真17枚と、親および家族からのメッセージを素材とした文字を織り込んで㊟コミットコーポレーションが編集した動画である。商品名「ベイビーストーリー」（映像は約4分間）としてDVDプレイヤーやスマートフォンにて鑑賞することができる。㊟コミットコーポレーションと契約している産科病院および産科診療所を利用している親、または個人でも利用できるサービスである。

#### 4. データの分析

データは質的帰納的に分析を行った。記術内容より、動画を視聴したことによる影

響と思われる文書を記述しコード化した。コード化後、共通性を見出し、抽象度をあげサブカテゴリ、カテゴリを生成した。妥当性の確保のため、生データ、予備的解釈、最終報告の各段階でメンバーチェックを行い、助産学の専門家よりスーパーバイズを受けた。

### III. 倫理的配慮

本研究は、「人を対象とする医学系研究に対する倫理指針」、「看護研究における倫理指針」を遵守し、国立国際医療研究センターの倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号 NCGM-S-004250-00）。研究者は、㊟コミットコーポレーションより委託されたデータのみを取り扱い、個人が識別できる情報は得ていない。

### IV. 結果

動画サービスを活用している産科病院および産科診療所15施設より得られた300人分の感想を分析し、動画視聴による影響について54コード、14サブカテゴリ、6カテゴリ【子どもと共有できる将来に期待する】、【家族の絆を形成する】、【子どもの成長を楽しむ】、【感謝の想いを持つ】、【過去を想起し子どもへの気持ちを確認する】、【気持ちを新たにす】が抽出された。以下、それぞれのカテゴリについて説明する。

なお、本稿では、カテゴリを【 】, サブカテゴリを< >, コードを[ ]で示す。

#### 1. 【子どもと共有できる将来に期待する】（表1参照）

このカテゴリは、<大きくなった子ども

と一緒に観ることを期待する>、<大きくなった子どもに出生について話すことを望む>から構成された。

<大きくなった子どもと一緒に観ることを期待する>は、[いつか息子が大きくなったら見せたいと思います]や[子どもが大きくなって一緒に動画を見るのが楽しみです]といった感想から抽出された。<大きくなった子どもに出生について話すことを望む>は、[子どもが大きくなったときには「あなたが生まれたとき、パパとママはこんな気持ちだったよ」と言って見せたいと思います]や[成長して、産まれた時はこうだったよ、みんなが幸せな気持ちになったよ、と一緒に見て、話したいです]といった感想から抽出された。

## 2. 【家族の絆を形成する】

このカテゴリは、<上の子と出産について話す機会とする>、<上の子の弟妹への想いを醸成する>、<家族と想いを共有する>から構成された。

<上の子と出産について話す機会とする>は、[上の子どもたちとも一緒に動画を観て出産時の事を話したりしました]や[お兄ちゃんと一緒に観て、お兄ちゃんの出産時のことも含め話す機会になりました]の感想から抽出された。<上の子の弟妹への想いを醸成する>は、[上の子2人は何度も再生して見て、「かわいいね」と言っています]や[上の子達も嬉しそうに何回も再生して妹ができたことを楽しんでいます]といった感想から抽出された。<家族と想いを共有する>は、[おじいちゃん、おばあちゃんもこの動画を見てとても喜んでおりました]や[遠方の両親もうれ

しさのあまり泣きながら動画を見たと話していました]から抽出された。

## 3. 【子どもの成長を楽しむ】

このカテゴリは、<子どもの成長の実感>、<今を大切に過ごす>から構成された。

<子どもの成長の実感>は、[1か月でこんなに大きくなったんだと驚きました]や[毎日接しているとあまり感じませんがこんなに大きくなったのかと成長を感じることができました]といった感想から抽出された。<今を大切に過ごす>は、[赤ちゃんの時期はあっという間なんだろう、大事に過ごしていきたいです]や[たった1ヵ月での成長を感じられ改めて成長の早さ1日1日の大切さを感じました]といった感想から抽出された。

## 4. 【感謝の想いを持つ】(表2参照)

このカテゴリは、<生まれてきた子どもに感謝する>、<家族・病院へ感謝する>から構成された。

<生まれてきた子どもに感謝する>は、[動画を観て出産時のこと、妊娠中のこと、いろいろあったけど、元気に産まれて来てくれ「ありがとう」という気持ちになりました]や[この動画をみて、改めて産まれてきてくれてありがとうという気持ちになりました]といった感想から抽出された。<家族・病院へ感謝する>は、[1か月经って毎日バタバタで疲れきってますが、動画を見ると感動と病院、家族への感謝をあらためて感じます]や[出産後は子育てに追われ、疲れもあり、不安もありの日々ですが、出産の時を思い出すことができ、嬉しかった気持ちや、病院で看護師や

表1 周産期の動画視聴による感想1

| カテゴリ                 | サブカテゴリ                      | コード                                                         |
|----------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 子どもと共有できる<br>将来に期待する | 大きくなった子どもと<br>一緒に観ることを期待する  | いつか息子が大きくなったら見せたいと思います                                      |
|                      |                             | 娘が大きくなったら一緒に見たいです                                           |
|                      |                             | 子供が大きくなって一緒に動画を見るのが楽しみです                                    |
|                      | 大きくなった子どもに<br>出生について話すことを望む | 子供が大きくなった時、第2子が生まれたらその子にもお兄ちゃんが生まれた時の様子を見せてあげたいと思います        |
|                      |                             | 子どもが大きくなったときには「あなたが生まれたとき、パパとママはこんな気持ちだったよ」と言いたいと思います       |
|                      |                             | 成長して、産まれた時はこうだったよ、みんなが幸せな気持ちになったよ、と一緒に見て、話したいです             |
| 家族の絆を形成する            | 上の子と出産について<br>話す機会とする       | 子供が大きくなったとき、一緒に見て産まれた日のことをたくさん話してあげたいです                     |
|                      | 上の子の弟妹への<br>想いを醸成する         | 上の子もたちとも一緒に動画を観て出産時の事を話したりしました                              |
|                      |                             | お兄ちゃんと一緒に観て、お兄ちゃんの出産時のことも含め話す機会になりました                       |
|                      |                             | 次男にとっては誕生記念の動画となり、長男にとってはお兄ちゃんになった記念の動画となり、喜んでいきます。記念になりました |
|                      | 家族と想いを共有する                  | 上の子2人は何度も再生して見て、「かわいいね」と言っています                              |
|                      |                             | 上の子達も嬉しそうに何回も再生して妹ができたことを楽しんでいます                            |
| 子どもの成長を<br>楽しむ       | 子どもの成長を実感する                 | おじいちゃん、おばあちゃんもこの動画を見てとても喜んでおりました                            |
|                      |                             | 遠方の両親もうれしさのあまり泣きながら動画を見たと話していました                            |
|                      |                             | 1ヶ月でこんなに大きくなったんだと驚きました                                      |
|                      | 今を大切に過ごす                    | こんなに小さかったなあと思い出し、成長したと感じています                                |
|                      |                             | 毎日接しているとあまり感じませんがこんなに大きくなったのかと成長を感じることができました                |
|                      |                             | 出産して1ヵ月が経ち、日々成長している息子と動画の息子を見ていると、本当に大きくなってきているんだと実感しました    |

先生方に支えられながら過ごした日のことが思い出されます」から抽出された。

#### 5. 【過去を想起し子どもへの気持ちを確認する】

このカテゴリは、＜妊娠から分娩までの出来事や想いを振り返る＞、＜子どもへの愛情を再認識する＞から構成された。

＜妊娠から分娩までの出来事や想いを振り返る＞は、〔動画のおかげで、妊娠という奇跡、また出産した時の喜びと感動を思い出しました〕や〔出産後の嬉しかった事や、つらかった事、楽しかった事が思い出され涙が出ました〕といった感想から抽出された。＜子どもへの愛情を再認識する＞は、〔出産の時の気持ちを、この動画を見ると思い出し、更に息子を愛おしく感じま

す〕や〔子ども達にもいとおしさがこみ上げてきました〕といった感想から抽出された。

#### 6. 【気持ちを新たにする】

このカテゴリは、＜初心に立ち返る＞、＜子育てを頑張ることを新たに決意する＞、＜親としての成長を志す＞から構成された。

＜初心に立ち返る＞は、〔日々子育てをする中で、イライラしてしまうことがあるのですが、動画を見ると、当時のことを思い出し、初心にかえることができます〕や〔子育てにつまずいた時に見返して初心に戻ってみようと思います〕といった感想から抽出された。＜子育てを頑張ることを新たに決意する＞は、〔ちょうど育児に疲れ

表2 周産期の動画視聴による感想2

| カテゴリ               | サブカテゴリ               | コード                                                                                       |
|--------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 感謝の想いを持つ           | 生まれてきた子どもに感謝する       | 動画を観て出産時のこと、妊娠中のこと、いろいろあったけど、元気に産まれて来てくれ「ありがとう」という気持ちになりました                               |
|                    |                      | 出産時の感動を忘れず、生まれてきた感謝を思い出し日々子どもと接することができます                                                  |
|                    |                      | 「生まれてきてくれてありがとう」本当にこの一言に尽きますね                                                             |
|                    |                      | この動画をみて、改めて産まれてきてくれてありがとうという気持ちになりました                                                     |
|                    |                      | 産まれてきてくれたことの感謝の念が押し寄せて来て、涙が出ました                                                           |
|                    | 家族・病院へ感謝する           | 1ヶ月経って毎日バタバタで疲れきっていますが、動画を見ると感動と病院、家族への感謝をあらためて感じます                                       |
|                    |                      | 出産後は子育てに追われ、疲れもあり、不安もありの日々ですが、出産の時の思い出すことができ、嬉しかった気持ちや、病院で看護師や先生方に支えられながら過ごした日のことが思い出されます |
| 過去を想起子どもへの気持ちを確認する | 妊娠から分娩までの出来事や想いを振り返る | 動画のおかげで、妊娠という奇跡、また出産した時の喜びと感動を思い出しました                                                     |
|                    |                      | 出産から1ヶ月、日々の育児の中ですでに薄れ始めている出産日の記憶が再び思い起こされ、生まれた時の感動と、父母の嬉しいような顔が甦りました                      |
|                    |                      | 動画をみると出産当日を思い出して改めて我が子の誕生をうれしく感じました                                                       |
|                    |                      | 出産後の嬉しかった事や、つらかった事、楽しかった事が思い出され涙が出ました                                                     |
|                    |                      | 動画を何度も見るたびにあの時の嬉しい思いと、頑張った思いが込められて涙が出ます                                                   |
|                    | 子どもへの愛情を再認識する        | 出産の大変さ、産まれてきた時の喜びを再度感じた                                                                   |
|                    |                      | 振り返ることができる思い出の品になりました                                                                     |
|                    |                      | 出産の時の気持ちを、この動画を見ると思い出し、更に息子を愛おしく感じます                                                      |
|                    |                      | 娘が産まれた時のことが鮮明に思い出され、より一層娘を愛おしく思いました                                                       |
|                    |                      | 子供たちを愛おしく感じました                                                                            |
| 気持ちを新たにする          | 初心に立ち返る              | 子ども達にもいとおさがこみ上げてきました                                                                      |
|                    |                      | 日々子育てをする中で、イライラしてしまうことがあるのですが、動画を見ると、当時のことを思い出し、初心にかえることができます                             |
|                    |                      | 子育てに行き詰まった時、辛い時に見ると初心に戻れる気がします                                                            |
|                    |                      | 昼夜逆転で夜中にグズグズされると精神的にまいってしまうこともありますが、これを見ると笑顔になれるので疲れた時はこれを見て初心にかえろうと思います                  |
|                    |                      | 子育てにつまづいた時に見返して初心に戻ってみようと思います                                                             |
|                    | 子育てを頑張ることを新たに決意する    | これからも育児を頑張っていきたいですし、もし挫折そうになる事があったら、この動画を見て、初心に返ろうと思います                                   |
|                    |                      | 動画をみて育児に悩んだり、疲れた時は元気をもらえんと思います                                                            |
|                    |                      | ちょうど育児に疲れが見られ始めた頃、気持ちよさそうに眠るわが子を見て出産した時のこと、妊娠中のことを思い出して頑張ろうと思えました                         |
|                    |                      | この先、育児に疲れた時、思い悩んだ時、これを見て頑張れそうです                                                           |
|                    |                      | 出産した時の気持ちを思い出せ疲れているけど子育て頑張ろうと改めて思えました                                                     |
| 親としての成長を志す         |                      | 出産とても大変でしたが、育児をがんばっていこうと改めて思うことができました                                                     |
|                    |                      | 初めての育児で毎日いっぱいでしたが、出産した時の写真を見ると、あの日の感動がよみがえり、育児がんばろう！と改めて思いました                             |
|                    |                      | 改めてまた頑張ろう！と思うことが出来た                                                                       |
|                    |                      | 愛しい我が子を大切に育て親になっていきたいと思いました                                                               |
|                    |                      | 大変なことがあると思いますが、生まれたばかりの子供を見て感じた気持ちを込めた動画を見て子どもとともに親として少しずつ成長していきたいと思っています                 |

が見られ始めた頃、気持ちよさそうに眠るわが子を見て出産した時のこと、妊娠中のことを思い出して頑張ろうと思えました〕や〔出産した時の気持ちを思い出せ疲れているけど子育て頑張ろうと改めて思えました〕といった感想から抽出された。＜親としての成長を志す＞は、〔愛しい我が子を

大切に育て親になっていきたいと思いました〕や〔大変なことがあると思いますが、生まれたばかりの子どもを見て感じた気持ちを込めた動画を見て子どもとともに親として少しずつ成長していきたいと思います〕から抽出された。

## V. 考察

### 1. 感想から推察される研究参加者の特徴

本研究は産科病院および産科診療所15施設にて分娩した親の感想を取り扱っている。分娩取り扱い施設の集約化が進んでいる我が国において、産科病院および産科診療所は、総合周産期母子医療センターおよび地域周産期母子医療センターに比べ、ローリスクの妊産褥婦および胎児や新生児を対象に医療を提供している<sup>10)</sup>。したがって、感想を記載した親はローリスク妊産褥婦またはそのパートナーであり、一般的な妊娠期から産褥期を過ごし、子育てを行っている者が多いと推察された。

### 2. 動画視聴後の感想の特徴

産褥1か月に妊娠期から産褥入院期間中の画像から作成された動画を視聴した影響として【子どもと共有できる将来に期待する】、【家族の絆を形成する】、【子どもの成長を楽しむ】、【感謝の想いを持つ】、【過去を想起し子どもへの気持ちを確認する】、【気持ちを新たにする】が抽出された。抽出されたカテゴリはすべて肯定的な影響であり、否定的な影響は抽出されなかった。これは、動画を視聴することが【子どもの成長を楽しむ】ことや、【家族の絆を形成する】ことにつながり、先行研究にあるように児への愛着形成の促進<sup>5)</sup>や子育てへの肯定的感情<sup>8)</sup>につながったと考えられる。また、感想を記載した親は動画サービスの利用を希望していたため、動画自体や動画を視聴した感想に否定的な表現はなかったことが考えられた。

### 3. 動画視聴による肯定的影響について

#### 【子どもと共有できる将来に期待する】

は、生まれた子どもが大きくなった時に一緒に動画を視聴する＜大きくなった子どもと一緒に観ることを期待する＞と、生まれた子どもが大きくなった時に分娩時のことを子どもに話すことを楽しみにしているといった＜大きくなった子どもに出生について話すことを望む＞から構成されている。一緒に動画を視聴することにより、子どもは自身が生まれた時のことを把握することができ、且つ親自身も子どもが大きくなった際に妊娠時から分娩までの経過や想いを伝えることができる機会となる。動画は分娩という経験を親子で共通の歴史として語る一つのツールになると考えられた。また、〔子どもが大きくなって一緒に動画を見るのが楽しみです〕といった感想より、親にとって分娩時のことを子どもに話すことは将来の楽しみとなっていた。坂井ら<sup>11)</sup>は新生児治療回復室において家族写真を撮影することによって「将来子どもに見せることができる」、「GCUにいた時のことを思い出し、家族で話をするができる」といったコードを抽出しており、画像や動画にて一時期のことを残すことは将来にわたり楽しむことができるものであると考えられる。将来的に親子で動画を視聴しその時の想いや感情を共有することは、子ども自身が家族の一員として愛情や自身の価値を認識するきっかけになることが考えられた。

【家族の絆を形成する】は、親が生まれた子どもの兄姉と動画を視聴することによって、〔上の子どもたちとも一緒に動画を観て出産時の事を話したりしました〕といった＜上の子と出産について話す機会とな

る>、〔上の子2人は何度も再生して見て、「かわいいね」と言っています〕といった、上の子の<弟妹への想いを醸成する>、動画を視聴した祖父母より〔おじいちゃん、おばあちゃんもこの動画を見てとても喜んでおりました〕といった<家族と想いを共有する>から構成されている。新たな子どもが誕生することは家庭内の役割も変化する。役割が変化し、親役割を遂行すること、祖父母となること、兄や姉となること等家族成員の一人ひとりが新たな役割に適応することが求められる。兄や姉となった子どもと動画を視聴することは、きょうだいの存在を報せるだけではなく、〔「かわいいね」といっている〕や〔何回も再生して妹ができたことを楽しんでいる〕といった感想から、生まれてきた子どもに対する興味や想いの醸成を促すことが考えられた。また祖父母や夫も動画を視聴し〔うれしさのあまり泣きながら動画をみた〕、〔喜んでいた〕といった感想から、遠方の家族とも一緒に喜びを共有できていると考えられた。小崎ら<sup>8)</sup>は家族で撮影した写真を見る行為は家族関係を良好にしていくことを報告しており、本研究でも同様に、生まれた子どもや妊娠中からの家族の動画を視聴することは、家族の新たな役割への適応を促し家族の絆を形成する一助になったと考えられる。

【子どもの成長を楽しむ】は、産褥1か月に動画を視聴することにより、子どもの成長を感じる<子どもの成長を実感する>や、〔たった1ヵ月での成長を感じられ改めて成長の早さ1日1日の大切さを感じました〕といった早い成長を感じ日々を大切するという<今を大切に過ごす>から構成

されている。産褥1か月は子どもの体重も1kg程度増加し成長が著しい時期である。産褥1か月の時点で出生時の動画を視聴したことにより親は視覚的に子どもの成長の早さを確認し、成長の喜びを「感じる」ことができたと考えられる。同時に、〔あつという間に〕という感想から成長が早いことに気づき、子どもとの日々をより大切に過ごす意識が高まったと考えられる。

【感謝の想いを持つ】は、〔「生まれてきてくれてありがとう」本当にこの一言に尽きる〕といった<生まれてきた子どもに感謝する>や、〔動画を見ると感動と病院、家族への感謝をあらためて感じます〕といった<家族・病院へ感謝する>から構成されている。動画視聴を通じて妊娠や分娩の過程を視覚的に振り返ることで、子どもが無事に生まれてきたこと、妊娠や分娩という大きなプロセスを支えた家族や医療機関のサポートを改めて思い出し感謝の想いになったと考えられる。

【過去を想起し子どもへの気持ちを確認する】は、妊娠や分娩時のことを振り返る<妊娠から分娩までの出来事や想いを振り返る>、子どもへの愛しさを記載した<子どもへの愛情を再認識する>から構成されている。<妊娠から分娩までの出来事や想いを振り返る>では、親は妊娠から分娩に至るまでや新生児に対面した記憶を呼び起こし、分娩という人生の大きな出来事に改めて向き合う機会を得たと考えられた。

〔動画を何度も見るたびにあの時の嬉しい思い出、頑張った思いが込められてきて涙が出ます〕といった感想は、動画を繰り返し視聴することにより、妊娠期や分娩期、産褥期の自身の出来事や想いを振り返り、そ

の時点での経験や努力を再確認し自分自身を認め自己肯定感を高めていると考えられる。出産後の女性は出産後にその体験を振り返り、感情を表出する必要があるとされている<sup>12)</sup>。出産体験を振り返ることは女性が出産体験を現実のものと受け止める機会になるとされており<sup>13)</sup>、我が国においても出産体験の振り返りは、母親になる過程を促す支援と捉えられている。動画視聴を通し、自身が経験してきたことを、客観的にみることができ新たな意味づけを行うきっかけとなったと考えられた。＜子どもへの愛情を再認識する＞では、親の子どもへの愛情がさらに深まったことが考えられた。〔娘が産まれた時のことが鮮明に思い出され、より一層娘を愛おしく思いました〕の感想にみられるように動画を視聴することで分娩時の感動や喜びを再認識することができ、再認識したことが親としての愛情をさらに高めることにつながったと考えられた。

【気持ちを新たにする】は、動画を視聴することで初心に戻ることを記載した＜初心に立ち返る＞、〔出産とても大変でしたが、育児をがんばっていこうと改めて思うことができました〕といった＜子育てを頑張ることを新たに決意する＞、〔愛しい我が子を大切に育て親になっていきたいと思いました〕といった＜親としての成長を志す＞から構成されている。＜初心に立ち返る＞では、動画を視聴することが、妊娠や分娩時の想いを再認識し子育てに改めて向き合う力になっていると考えられた。特に〔子育てに行き詰ったとき〕や〔つまずいたとき〕に動画を見返すことが記載されており、子育てに問題が生じた際に、動画を

視聴することで新鮮な気持ちや謙虚な気持ちを取り戻す機会になることが考えられた。＜子育てを頑張ることを新たに決意する＞では、動画を視聴することによって〔子育て頑張ろうと改めて思えました〕、〔育児をがんばっていこうと改めて思うことができました〕等が綴られており、改めて親役割に積極的に取り組む想いを表していると考えられた。産褥1か月は、初産婦であれば慣れない育児に、経産婦であれば上の子をみながらのこれまでと異なった育児に奮闘し疲労がたまってくる時期である<sup>14)</sup>。この産褥1か月という時期に動画を視聴することにより、〔出産した時の気持ちを思い出せ疲れているけど子育て頑張ろうと改めて思えました〕にあるように、分娩した時の気持ちを思い出し親としての役割を再確認したことで、今後の育児に対する前向きな動機付けに繋がったと考えられた。＜親としての成長を志す＞では、動画の視聴が自己の成長や親としての責任感を見直すきっかけとなり、前向きな成長していく意欲が引き出されたと考えられた。

妊娠期から産褥期の動画視聴は、将来への期待を膨らませるとともに、妊娠期から産褥入院期間中までを振り返るきっかけとなり、親としての役割の再確認することや、子どもへの愛着の形成を促進することが考えられた。また、産褥1か月という親が子育てに疲労をためている時期に視聴することで育児への前向きな気持ちが芽生える可能性が示唆された。

## VI. 結論

妊娠期から産褥入院期間中までの画像を

編集した動画を産褥1か月で視聴したことにより、54コード、14サブカテゴリ、6カテゴリが抽出され、親に【子どもと共有できる将来に期待する】、【家族の絆を形成する】、【子どもの成長を楽しむ】、【感謝の思いを持つ】、【過去を想起し子どもへの気持ちを確認する】、【気持ちを新たにす】という肯定的な影響を与えることが示唆された。

## VII. 利益相反

本研究は㊤コミットコーポレーションからの委託研究である。㊤コミットコーポレーションとの契約は、国立研究開発法人国立国際医療研究センター臨床研究センター産学連携推進部知的・契約室と連携し受託研究契約書を締結した。

利益相反に関しては国立国際医療研究センター利益相反マネジメント委員会の審査を受け、その指示に従い研究を実施した。なお、㊤コミットコーポレーションよりデータの委託は受けるが、金品の需給は受けていない。

謝辞：研究にご協力いただきました研究参加者の皆様に感謝いたします。

なお、本研究は著者らが研究期間および受託研究契約期間に所属していた国立看護大学校にて実施したものである。

受付 2025年 1月15日

受理 2025年 4月24日

## 文献

- 1) 総務省：令和5年通信利用動向調査の結果（概要）。（2023），

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000951720.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000951720.pdf), (2023.12.3)

- 2) モバイルマーケティング研究所 HP：スマートフォンカメラの利用に関する調査。（2018），  
[https://mmdlabo.jp/investigation/detail\\_1733.html](https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1733.html), (2024.12.3)
- 3) 佐々木睦子，内藤直子，柳原敏宏  
他：妊娠初期4D 双胎児画像を見た後の夫婦の思いの検討．母性衛生，48（3）．100，2007．
- 4) 佐々木睦子，柳原敏宏，秦利之：妊娠10 - 13週の4次元超音波胎児画像を見た後の妊婦と夫の思い．日本産婦人科学会誌，62（2）：655，2010．
- 5) Skelton. E, Cromb. D, Smith. A, et al. : The influence of antenatal imaging on prenatal bonding in uncomplicated pregnancies: a mixed methods analysis. BMC Pregnancy Childbirth, 24（1）：2024.  
DOI10.1186/s12884-024-06469-0.
- 6) 佐々木睦子，柳原敏宏，秦利之：妊娠10 - 14週の4D 双胎児画像を見た後の妊婦と夫の思い．日本周産期・新生児医学会雑誌，45（2）：561，2009．
- 7) 岸本優妃，池内和代：妊婦がマタニティフォトを撮ることの意味～妊婦の自己像に焦点を当てて～．母性衛生，58（3）．185，2017．
- 8) 小崎恭弘，木戸楓，石田文弥：フォトアルバムが育児に与える影響に関する検討．大阪教育大学紀要第Ⅱ部門，65（2）．1-8，2017．
- 9) 田中和子：子どもの成長に伴う子どもの愛着と母親役割達成感の縦断的研究

- 究. 母性衛生, 59 (4). 835-841, 2019.
- 10) 厚生労働省：周産期医療について令和5年度第1回医療政策研修会. (2023), <https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001094028.pdf>, (2024.12.6) .
- 11) 坂井洋子,西田真紀子：新生児治療回復室における家族写真が家族を形成することに与える影響. 家族看護研究, 28 (2), 77-86, 2023.
- 12) Mercer, R,T. (1981). The nurse and maternal tasks of early postpartum. MCN Am J Matern Child Nurs, 6, 341-345.
- 13) ルビン, R. (1984) / 新道幸恵, 後藤桂子 (1997)：母性論—母性の主観的体験, 医学書院, 東京
- 14) 松島美穂, 田嶋敦, 谷垣伸治：周産期における研修医・新人助産師/看護教育の必修知識 産科編 産褥 産褥1か月健診.周産期医学, 54 (2), 253-255, 2024.

## Effects of viewing one's own perinatal videos on parents during the first month of postpartum period

**Objective:** To examine the impact on parents of viewing videos with images taken by parents and family members during pregnancy, delivery, and postpartum hospitalization during the first month of postpartum period.

**Methods:** We conducted a qualitative inductive analysis of 300 impressions described by parents who used the video service “Baby Story” in the fiscal years 2019 and 2020, in which their consent to the study was confirmed.

**Results:** We obtained 300 comments from 15 maternity hospitals and maternity clinics that use the video service. 54 codes, 14 subcategories, and 6 categories [anticipation of a future to share with the child], [forming a family bond], [enjoying the child's growth], [having feelings of gratitude], [recalling the past and confirming feelings toward the child], and [renewing feelings] were extracted regarding the impact of watching videos.

**Conclusion:** The results suggest that viewing videos created from images from the gestational period through the postpartum hospitalization period during the first month of postpartum period has a positive impact on parents.

Keywords : Video, Images, Parents, Viewing